

慶應義塾大学生の先輩の声

インターンシップ経験者 井内 隆祐 さん

慶應義塾大学理工学部 物理情報工学科

参加時期：2015年6月から3ヶ月

参加学年：3年生

インターンシップ先：College Track San Francisco



海外インターンシップ参加理由

海外インターンシップに参加した部活の先輩から、話を聞かせてもらったことがきっかけでした。将来日本だけでなく、世界中で活躍できる人間になりたいとぼんやり考えていた時にこのプログラムを知り、語学の向上を含め海外で働くという貴重な経験を積みたいと思い参加を決めました。

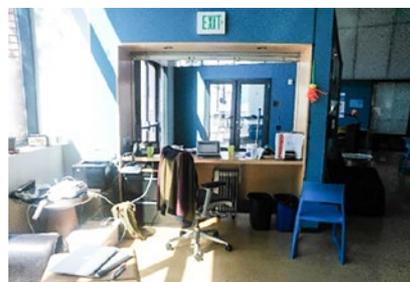
自分のことを誰も知らない状況で、がむしゃらに頑張るという点も魅力的に映りました。またIT業界の聖地であるシリコンバレーを訪れてみたいと前から考えていたため、カリフォルニアでのインターンシップを希望しました。

担当プロジェクト

最初のうちはデータ入力や書類の分類など事務的な仕事を中心でした。次第に、はじめから最後まで自分を中心にして取り組むプロジェクトも担当させてもらうことができました。

【主な仕事内容】

- ・オフィス内の教室にパソコンを設置
- ・ワイヤレスプロジェクターのリサーチ・設置
- ・データ入力や書類作成・分類などデスクワーク
- ・イベントの準備
- ・その他



海外インターンシップで学んだこと

今回のインターンで得たこととして、「世界のどんな場所でもそこで頑張れる自信」を挙げたいと思います。はじめは言語も通じず生活に適應することにも時間がかかりましたが、少しずつ慣れていき他人にも認識してもらえるようになってから、いろんなことが上手く回りだしたと思います。将来は海外で働くことを考えており、日本のため、現地の国のために汗をかける人間になりたいと思います。



インターンシップ経験者 津田 恵梨子 さん

慶應義塾大学法学部

参加時期：2015年7月から5週間

参加学年：3年生

インターンシップ先：Breathe California



海外インターンシップ参加理由

私がインターンシップを選んだ理由は、次の3点です。

- ・英語力を実践の場で使って上達させたい。
- ・何かチャレンジングなことに取り組みたい。
- ・外国で自立した生活を送ってみたい。

これらをすべて満たしていたのが、米国インターンシップだったので参加を決めました。

担当プロジェクト

最初の1～2週間は、書類整理や顧客情報の管理などを行っていました。せっかく米国まで来たのに、このまま終わらせたくないという気持ちから、上司に仕事内容の相談をしてみました。

そこから、もともと興味があった、マーケティング部門のアシスタントの仕事をするようになり、市場リサーチや、イラストレーターを用いたマーケティングツールの作成も行いました。時には市場リサーチの一環で、関連動画を一日中見続けたこともありました。



海外インターンシップで学んだこと

海外で働いてみたいという気持ちを確認めたくて、挑戦したインターンシップでした。インターンシップを終えた今、より一層海外で働きたと思うようになりました。英語を使って、様々なバックグラウンドを持つ人たちと働くことで、自分の考え方の視野が広がることに気付いたためです。

また、英語力も話すことに抵抗がなくなり、自信ができました。

将来は、自分の強みをしっかりと理解して、グローバルに活躍できる仕事に就きたいです。



ワークトラベル経験者 河西 雄貴 さん

慶應義塾大学環境情報学部 環境情報学科

参加時期：2015年8月から6週間

参加学年：3年生

インターンシップ先：Glacier Park Inc.



海外インターンシップ参加理由

将来は海外で働いてみたいなど漠然と考えていました。ワークトラベルは、英語を使って他国の学生と働いたり遊んだりできるという、日本では決してできないことが経験できるので魅力的でした。

担当プロジェクト

Glacier Central Laundryでアメリカやタイ、台湾、ウクライナ、ブルガリア、トルコ、中国、チェコ共和国などの学生と一緒に働きました。ロッジで使うシーツや枕カバー、ブランケット、タオルなどを洗濯したり畳んだりする仕事でした。みな仲がよく、BBQをしたり仕事の後に一緒に遊んだりして楽しく過ごせました。



海外インターンシップで学んだこと

他国の学生や日本の他大学の友人が増えたことはもちろん、皆さんと一緒に過ごしたことで自分を見つめ直すことができ良かったです。全てが良い思い出です。でも、今思うと最初はなかなか馴染むことができずにいて辛いこともありましたが、徐々に周りの人に巻き込まれてもらって自分らしさを解放できるようになったように思います。そういうふうにしたのは、常に楽しむことを心掛けられたからかなと思います。「妙味を見つける」。これは、これから何をやるにしてもとても重要なことだと考えています。



タイインターンシップ経験者 金子 朝希 さん

慶應義塾大学法学部 政治学科

参加時期：2015年2月から4週間

参加学年：3年生

インターンシップ先：COSA



海外インターンシップ参加理由

ボランティアという特別な体験を通じて、タイの現状について理解を深め、自らの視野を広げたいと思ったから。

タイの人身売買の問題について知りたいと思ったから。

担当プロジェクト

①小学生から高校生までの子供たちに英語を教えること

母国語を共有していないため、英語の文法を教えることは難しかったです。また、タイ語には複数形や時制の概念がないため、英文法を教える際にはホワイトボードにイラストを描くなどして、視覚的に教えました。

②ワークショップ

毎週末ワークショップ開き、子供たちに様々な体験を提供しました。

私は【折り紙】【ヴァレンタインのお菓子作り】【白玉団子づくり】の3つのワークショップを行いました。【折り紙】では、被爆の少女「禎子」の話をし、子供たちに原爆の被害について考えてもらいました。



海外インターンシップで学んだこと

自分が子供たちに教えるだけでなく、彼女らから多くのことを教わりました。

全力で取り組みれば必ず何かが返ってくる。そして、それが自分の糧になる。このことを学んだ一か月間でした。

